

# 2012



# CCC

## 活動報告書



愛知淑徳大学  
コミュニティ・コラボレーションセンター



コミュニティ・コラボレーションセンター

社会とともに、未来とともに。

# Contents

1. CCCの役割	・・・ p. 3
2. CCC授業科目	・・・ p. 4
3. 学生のボランティア・社会貢献活動	
3-1. 学生の自主企画事業	
・ 東日本大震災支援活動「なごやであそび隊」	・・・ p. 5
・ 介助犬と伝えるまちづくり	
・ 名古屋市との連携事業「あつまれ！たのしい！クリスマス会」	・・・ p. 6
・ 日進市子ども国際理解教室	
・ 東邦ガス(株)と連携した社会貢献活動	・・・ p. 7
・ 障がい理解のきっかけ作り「手話 DE ランチ」	
・ 東谷山フルーツパークとの協働	・・・ p. 8
・ 名古屋市農業センターとの協働	
3-2. 学内助成事業「チャレンジファンド」	・・・ p. 9
4. 2012年度 CCC活動実績	
・ カレンダー	・・・ p. 13
・ CCC企画 2012「環境サロン」	・・・ p. 15
・ 共催事業	・・・ p. 16
・ 利用状況	
・ 学生スタッフの活動	・・・ p. 17
・ ニュースレター「コラボ通信」	・・・ p. 18
・ 運営委員・職員一覧	



# Introduction

国籍、言葉、文化、性別、年齢、障がいなど互いの違いを正しく知り、

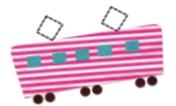
互いが生かし、生かされ合う存在だと認めて生きる——

愛知淑徳大学の理念「違いを共に生きる」に込められた思いを受け継ぐコミュニティ・コラボレーションセンター（CCC）は、「地域に根ざし、世界に開く」という姿勢で、学生の実践力を育む「教育」と、学生の自主活動を支える「支援」に取り組んでいます。

学生一人ひとり、輝く個性や未来を拓く力を持っています。その大きなパワーを地域での「体験」や「実感」を通して引き出すのが、CCCの役割。学外のさまざまなコミュニティとの連携を強め、地域社会と大学の活性化を図ること、そして、これから社会へ羽ばたく学生たちの視野を広げ、人間力や社会人基礎力、生きる力を育むことをめざしています。CCCから地域、社会、世界へ飛び出した学生は、さまざまな人と交流を深めながら共に活動し、「違いを共に生きる」社会の実現に向けた新たな風を次々と起こしています。

本冊子では、2012年度、学生が地域で様々な活動を通して得た学びの一部をご報告します。CCCを通して活動するそれぞれの団体、組織との協働をまとめ、少しでも全体像が見えるよう編集しました。学生の活動は多岐にわたりますが、本冊子を通して、学生たちの熱意を感じていただければ幸いです。

## Message



この度は「2012年度 CCC 活動報告書」を手にとりいただき、ありがとうございます。

学生たちの思いを地域へ広げ、大きな花として咲かせたい。こうした信念のもと、2006年にCCCが開設されてから6年、多くの学生たちが地域での活動に主体的にチャレンジするようになりました。特に2012年度は本学が「地球とつながれば明日が変わる」というキャッチフレーズのもと、全学的に環境保全に取り組んだ年であり、学生もそれぞれに意識を持ち、学内外での様々な環境保全活動を展開しました。このような「想い」を「かたち」にしていくことで体得した学びの一部をこの一冊にまとめました。

私どもの取組みにご賛同いただき、次世代を担う学生に貴重な学びの場をご提供いただきました地域の皆様には、改めて心よりお礼申し上げますとともに、今後のご指導、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

今後も皆様のご協力のもと、地域のよりよい未来に貢献していききたいと思います。

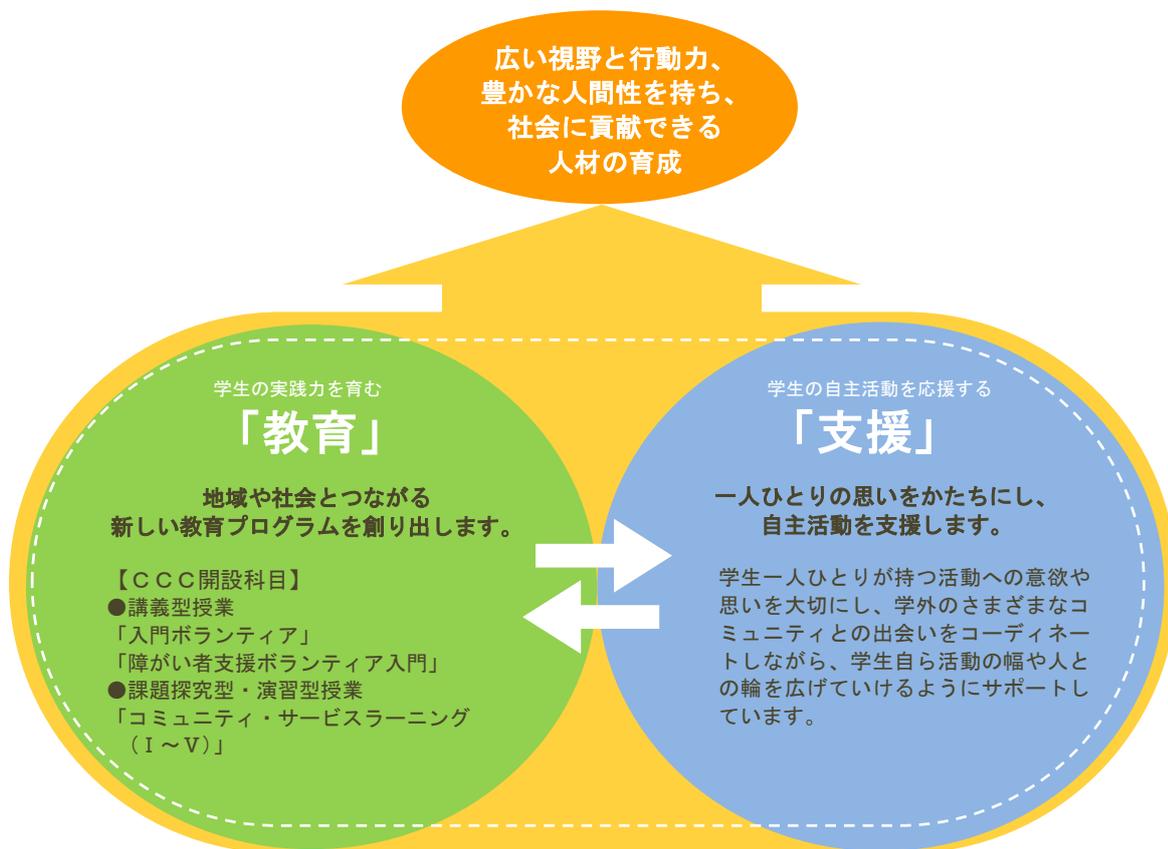
社会とともに、未来とともに。

コミュニティ・コラボレーションセンター  
センター長 ブイ チ トルン

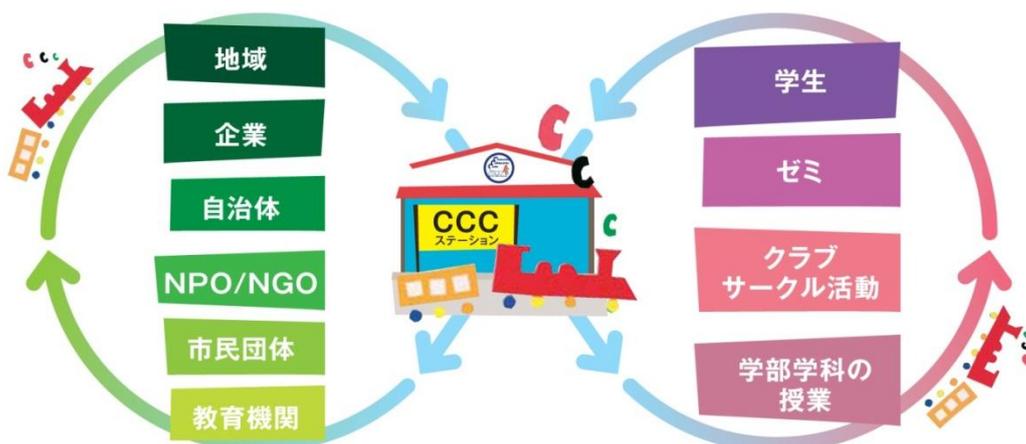


# 1. CCCの役割

CCCは、学生の実践力を育む「教育」と学生の自主活動を応援する「支援」の2つを軸に、学生が「文化」「世代」「地域」「社会」の違いや多様な価値観に共感し、自己を成長させる「生きた学び」が得られるようにサポートしています。



具体的には、学生の力を必要としている地域・企業・自治体・NPO・NGO・教育機関との出会いをコーディネートし、学生の思いを実際の活動へと結びつける橋渡しをしています。さらに、学生たちが活動中に困難な事態や課題に直面したとき、自分自身で答えを導き出せるように考える力を引き出すサポートを大切にしています。



## 2. CCC授業科目

CCCでは、地域や社会と共に行う社会貢献活動に、学生が段階的にチャレンジできるよう、CCC授業科目を開講しています。こうした授業を通して地域や社会へと一歩を踏み出した学生は、自ら考え、行動する実践力を高めていきます。

### 入門ボランティア

小島 祥美 先生・橋本 吉広 先生

地域での実践事例を通して地域の課題を知り、ボランティア活動の「魅力」を学び、「参加」へつなげることをめざします。様々な分野で活躍する地域の方々から事例をお聞きし、身近なところからできるボランティアを実施します。

### 障がい者支援ボランティア入門

黒川 文子 先生

肢体や視覚、聴覚に障がいのある人への支援技術として、移動支援（車イス）、手話、ノートテイク、パソコンテイクを学びます。さまざまな支援技術にふれることで、幅広く障がいのある人への理解を深め、支援を必要としている人への支援活動につなげていきます。

### コミュニティ・サービスラーニング (I)~(V)

#### (I) まちづくり

小島 祥美 先生

行政などと協働しながら世界共通のアイコン（絵文字）を活用した環境マップ（グリーンマップ）づくりの企画・運営を通じて、地域が抱える課題とその解決方法を考えていきます。



2012年度は長久手市内の小学校に通う子ども達と一緒に、新しくできる長久手市立北中学校周辺と香流川流域を周り、世界共通のアイコンを使ってグリーンマップを作成しました。

#### (II) 企業のCSR活動

小林 三太郎 先生

企業の社会貢献活動・CSR活動の企画立案に参加し、学内の講義と学外での実践を通してCSR活動の重要性を修得します。



2012年度は東邦ガス㈱の社会貢献活動の一環である子ども向け環境イベントの企画・運営をしました。

#### (III) 地域メディア実践

小川 明子 先生

現代地域社会の課題を発掘、議論、取材し、地域社会の人々に一緒に考えてもらうためのメディア・コンテンツ制作をおこないます。

2012年度は、日進市でバリアフリーマップの運動を進めているHappy Mapのみなさんと、「障がいをお持ちの方から、町が、世の中がどう見えているのか」をテーマに、学生が共に映像を制作しました。



#### (IV) 地域福祉

地域の福祉課題に目を向け、現状を知り、問題解決のために取り組むべき課題を具体的に学びます。

##### <前期>

黒川 文子 先生

2012年度前期は「敬老の日」に名古屋市内の各所を歩いて巡るウォーキングイベントにて、高齢者の方と交流するスペースを企画・運営しました。



##### <後期>

橋本 吉広 先生

2012年度後期は地域での配食ボランティア・グループに加わり、調理や弁当配達などを体験しました。ご高齢の方の暮らしぶりやボランティアさんの参加動機など、体験を通して学びました。



#### (V) 日本語学習支援

日置 陽子 先生

日本語学習支援（地域の日本語教室等）の役割や方法を学び実践することを通して、在住外国人を取り巻く日本語学習支援の現状・課題への理解を深めます。

2012年度は、外国にルーツを持つ児童が多く在籍する小学校のトワイライトスクールで、日本語を使ったレクリエーションを企画・実践しました。



### 3. 学生のボランティア・社会貢献活動

#### 3-1. 学生の自主企画事業

##### 東日本大震災支援活動「なごやであそび隊」

東日本大震災により、愛知県内に避難してきた子どもたちと保護者の方々と一緒に、名古屋の魅力あふれる場所でもいっきりに遊ぼうという趣旨で、昨年度より「なごやであそび隊」の活動を行っています。今年度は様々な方にご協力いただき、新しい協働企画を実施するなど、新たなつながりもできました。

学内活動報告会	2012年 6月 20日 (水)
東山動植物園へ行こう！	2012年 7月 8日 (日)
トヨタ博物館へ行こう！	2012年 8月 10日 (金)
大学祭へ遊びに行こう！	2012年 11月 4日 (日)
ブラザー工業へ行こう！	2012年 11月 17日 (土)
クリスマス会	2012年 12月 16日 (日)



##### 学生の声

人間情報学部 1年 栗崎 颯太 さん

「なごやであそび隊」の活動に参加するまでは、子ども達はまだショックを受けていると思っていたので、当日までは不安だらけでした。でも、笑顔で走りまわっている子どもを見て、たくさんの驚きと元気をもたらすことになったのを今でも覚えています。「また遊んでね！」といつまでも手を振ってくれている子どもの顔が今ではすごくかけがえのないものになっています。

いつまでも震災のことを忘れずに、たくさんの子とも達と楽しく笑いあって、支えていけたらと思います。

##### 介助犬と伝えるまちづくり

長久手市の助成を受け、市内の小学生に介助犬について親しみを持って学んでもらえるよう、一年生向けにカルタを作成し、長久手市立南小学校で介助犬の授業を行いました。障がいについてや、介助犬という役割をもつ犬がいることを楽しく学んでもらい、「福祉」と「まちづくり」について共に考えました。



##### 学生の声

交流文化学部 3年 加藤 エリカ さん

2年生の時に介助犬フェスタに参加し、そこで「介助犬」という犬の存在を知りました。そして、ペットではない働く犬である彼らのことをもっと多くの人に知ってもらいたい、関わっている人々の力になりたい！！と思い学生団体を立ち上げました。今年度は長久手市の助成を受け、市内の小中学校で授業をさせていただきました。参加した子ども達からは、「またやりたい。」「また来てね。」と言ってもらって、本当に嬉しかったです。今後は長久手市内にとどまらず、他の地域の方にも知ってもらえるよう活動していきたいです。



## 名古屋市との連携協働事業「あつまれ!たのしい!クリスマス会」

名古屋市の未来を担う大学生と子ども達が集い、交流する「あつまれ!たのしい!クリスマス会」が開催されました。この事業はユースクエア（名古屋市青少年交流プラザ）主催のもと、名古屋市内・近郊の大学生がクリスマス会実行委員として企画・運営をしました。普段子ども達と交流する学生のボランティア団体が集まり、それぞれにブースを出展したり、学生団体同士の交流会も開催されました。



6月から始まった大学生によるワークショップ



約700人の来場者でした!



### 学生の声

ビジネス学部4年 山田 紗祐里さん

私たちは団体ごとに企画しブースを作り、当日の運営を行いました。はじめての試みということもあり、子どもたちが楽しく、進んで参加したくなる企画にするため、一つ一つみんなで意見を出し合いながら作っていきました。その甲斐あって、当日はたくさんの子どもの笑顔を見ることができ、一緒に来てくださった親御さんからも「またやってほしい」との声をいただくことができました。学生自身も、間近で他団体の活動を見ることができ、刺激や新しい発見を得ることができました。

今後またこのような機会があったら、団体の枠にとらわれず、それぞれの良さを組み合わせて全員が参加できる企画作りになればと思っています。そして、地域の方たちに楽しみに待ってもらえるようなイベントとなることを願っています。

## 日進市子ども国際理解教室

国際理解の推進のため、日進市内の小学生を対象に、本学留学生と学部生が講師となり、国際理解教室を2011年度より年に2回、開催しています。様々な国の文化やゲームを子ども達に伝えることで他国を身近に感じ、国際的な視野を持つ人材の育成につなげています。

### 【第1回】

日時：2012年12月2日（日）10:00~12:00

場所：日進市立図書館

内容：中国・ノルウェーのおはなし、ゲームなど

### 【第2回】

日時：2013年2月24日（日）10:00~12:00

場所：日進市スポーツセンター

内容：ドイツ・韓国・オーストラリアのおはなし、ゲームなど



### 学生の声

文学部2年 北垣 かなえさん

短い時間でしたが、充実した子どもたちとの時間が過ごせました。最初は少し緊張気味だった子どもたちも、留学生の話に一生懸命耳を傾け、ノートを取り、最後にはみんなで外国のあそびを楽しめてよかったなと思います。私が現在、英文学科で学んでいて感じるのは、英語が話せることが、イコール“コミュニケーションが取れる”とは違うのかもしれないということです。相手の文化や考え方を知っているからこそ、英語を手段として相手とコミュニケーションを取ることができるのだと思います。そしてそれは、他のどの国や地域、言語でも共通することなのではないでしょうか。子ども国際理解教室に参加してくれた十数名の子どもたちが、今回知った国に親近感を持ってくれたらなと思います。そして実際にその国の人に出会ったときに、今回学んだことを活かして、同じものを共有していることを実感し、国を越えた“ひと対ひとのコミュニケーション”を取ることができたら素敵だなと思いました。子どもたちの未来につながる新しい学びの場に一緒にいて、私自身、改めて国際理解の大切さや必要性を感じました。今回の子ども国際理解教室が、子どもたちにとって、意味有る、外で活かせる学びの2時間となっていたら嬉しいです。



## 東邦ガス㈱と協働した社会貢献活動

東邦ガス㈱の社会貢献活動の一環であるガスエネルギー館での子ども向け環境イベントに参加し、イベントの一部企画から運営まで取り組みました。今後未来をつくっていく子どもたちに、環境とエネルギーについて考えてもらうきっかけ作りを目的としている環境イベントで、企業のCSR活動に関心のある学生や、環境活動を通して子ども達と交流したいという学生が集まってチームとなり、年4回の企画に携わりました。

### 学生の声

ビジネス学部3年 中川 由有 さん

学生チームとしては、目的を持って企画作りに取り組めたことや、イベントを通して様々な人と交流できるキッカケになったのではないかと思います。考え方・価値観がちがうことでお互いに刺激し合える「場」となり、学びのある活動でした。

個人として活動で学んだことは、目的を全体で共有していなければならなかったことです。イベントの目的の前に、「チームとしての目標・目的を考えること」これが1年間リーダーとして感じ・学んだことです。結果としてチームは目的を持って活動できていましたが、私自身は反省すべきところが多かったように思います。これをふまえて、次の1年は「反省をいかす！」そして「楽しむ！」ことをしていきたいといます！次のイベントが楽しみで今からワクワクしています。



## 障がい理解のためのきっかけ作り「手話 DE ランチ」

障がい理解のためのきっかけ作りとして手話で話をしながらランチタイムを過ごしています。普段から手話を使用している教育学部3年生の千葉 杏紗さんが先生となり、学部の垣根をこえて手話に興味のある学生が集まり、簡単な手話を楽しく覚えています。覚えた手話で会話をしたり、聴覚障がいについて話しています。



イラストを使って分かりやすく教えます。



楽しく手話を覚えています。

### 学生の声

メディアプロデュース学部1年 市田 早苗 さん

「手話・点字」の授業を受講してから聴覚障がいの方とお話してみたいと思うようになりました。身近な単語を手話で表現できるようになると、ますます手話に興味を持つようになりました。

「手話DEランチ」では、クイズや千葉さんの実体験、かわいいイラストを通して手話がわかりやすく覚えられました。名前と学科の表現を覚える自己紹介の回では、友達をつくることができたので印象に残っています。

「手話DEランチ」に参加する前は、手話とは聴覚障がいの方の間でしか使用されず、聴者とは筆談でやりとりし手話はあまり使用しないと思っていました。しかし、手話を始めてから筆談では得られない感情を知ることができました。文字を書くだけではその人が何を思っているのか、何を考えているのかわかりづらいですが、手話では表情と手の動きの大きさ、速さから相手の考えがわかるようになりました。手話は声や筆談のコミュニケーションに比べて、心のやりとりが大きく表れていると思います。現在、キャンパス近くの手話サークルでも手話の勉強を続けています。これからも障がいの有無に関係なく、様々な方と交流を続けたいです。

## 東谷山フルーツパークとの協働

東谷山フルーツパークからの「愛知淑徳大学の学生と一緒に、地域の人にもっと来てもらえる公園作りをしたい」とのお話から活動がはじまりました。具体的な活動として、イベント時のブース出展をはじめ、スタッフさんと学生の意見交換会、新たな企画「温室バレンタイン装飾」「バレンタインスイーツ教室」など多岐にわたります。学生の可能性の詰まった活動の場となっています。



バレンタインスイーツ教室



工作教室ブース

### 学生の声

メディアプロデュース学部 2年 位田 佳奈美 さん

CCCで紹介されるまでは知らなかった東谷山フルーツパークさんですが、イベント時の工作教室ブース出展をきっかけに、意見交換会や様々な活動に参加しました。今までなかった冬のイベントとしてバレンタイン装飾の企画をスタッフさんで行いました。自分達で考えたデザインやアイデアが形になり、やりがいを感じました。また、大学での学びも活かせ、実践から学びを得ることもできました。これからも楽しみながら活動を続けていきたいです。

心理学部 1年 山下 綿子 さん

バレンタインのお菓子作りに参加して、みんなで一体になって取り組む喜びを感じ、主体的に取り組むことを学びました。また、これからの課題も見えてきました。これからさらに、東谷山フルーツパークさんの主旨である活性化に役立てるよう、活動していきたいです。

## 名古屋市農業センターとの協働

名古屋市農業センターとの協働で、子どもや若者を中心とした地域の方々に、体験を通して農業や名古屋の食文化を身近に感じてもらう取り組みを行いました。毎年開催されている春のフェアでの子ども向けブースの出展に加え、2012年度は、産学官連携での「名古屋コーチンコロッケ・プロジェクト」をメディアプロデュース学部の学生と進め、より専門的な実践の場となりました。

### 地域の方の声

名古屋市農業センター 平野 健治 様

愛知淑徳大学との協働・連携は、農業センターにグランドデザインがないなかで、ゆるゆると始まりました。これまでに、子ども向けワークショップの開催や名古屋コーチンを使った新商品開発のプロモーション（ネーミングなど）などをお願いしました。

ワークショップでは、参加した子どもたちの瞳はキラキラと輝き、とても楽しそうでした。何度も風船が破裂し、そのたびに一生懸命チャレンジする子どもたちの真剣な表情を見て、役所の私たちだとケガが心配で二の足を踏んでしまうくらいのほうが「いい体験」になるのかと考えさせられました。新商品開発では、高級食材の名古屋コーチンと庶民的なコロッケを見事にマッチングさせた「絶品名古屋コーチン 殿様コロッケ」と名付けてもらいました。私たちでは思いつかない素晴らしい名前にとっても感謝しています。

愛知淑徳大学との協働は、私たちに“役所の壁”を超える新しい発想を与えてくれます。そして、皆さんの真剣さやクオリティの高さにはいつも感心させられます。これまで農業センターを知らなかった学生さんが協働を通じて知っていただき、ゆるゆる感を評価していただいたこともうれしく思っています。

今後も、食育などでより深く協働していけたら思っています。よろしくお願いします。



こどもの日のイベントで、子どもたちとバルーン作り



中日新聞（平成24年10月31日 朝刊）

## 3-2. 学内助成事業「チャレンジファンド」

CCCでは学生のさまざまな自主活動を助成する「チャレンジファンド」を設けています。学生による地域のニーズに応える活動や、社会的に意義の高い活動に対して、愛知淑徳大学後援会の協力を得て資金面での助成をおこなっています。

2012年度は、11団体が採択され、地域でそれぞれの活動を展開しました。以下、各団体の活動報告書よりそれぞれの活動とそこから得た学びの一部を紹介致します。



【公開コンペ】  
2012年6月3日（日）



【中間交流会】  
2012年10月1日（月）



【活動報告会】  
2013年3月13日（水）

(団体名 あいうえお・ABC順)

## 一互一縁 (いちごいちえ)



子ども達と作成した作品と、一互一縁メンバー

### 【団体概要】

代表：田中 まりの  
(医療福祉学部4年)  
メンバー数：12名

## 障がいのある子ども達に チームケアを

### 【目的】

どのような特性を持った子どもでも、安心して遊び、学ぶことのできる場をつくること。また、障がいを持ったお子さんとそのご家族が地域社会とつながる場所をつくること。

発達障がいを持つ未就学児(6歳まで)を対象に、『遊びの会』という企画を行いました。『遊びの会』では、『五感を刺激する遊び』に重点を置き、子どもたちの自発的な感情に目を向けながら、子どもたち一人ひとりの特性を知りました。子どもたちの内側に備わっている興味や関心、“わずかでも成長した点”を取りこぼすことのないように注意し、それぞれの歩幅にあったサポートが必要であると学びました。

## 国際協力研究会



ヘルシーランチでおいしい国際貢献してみませんか?

### 【団体概要】

代表：暮石 三津稀  
(心理学部3年)  
メンバー数：12名

## アフリカの子ども達と 淑徳生の未来に貢献

### 【目的】

発展途上国で暮らす子どもたちが笑顔になる手助けができるような国際協力を通して、淑徳生が国際協力に関心を持つきっかけ作りとなり、世界に視野を広げること。

カロリーオフした健康的な食事を購入することで、1食につき20円の寄付金がTABLE FOR TWO (TFT) 事務局を通じて発展途上国の子どもたちに給食として届く活動をメインに行いました。自分たちの言葉で活動を知ってもらうプレゼンテーションを行う機会を作った結果、多くの学生へTFTの活動を広めることができ、発展途上国の子どもたちに多くの給食費を届けることができました。このことから、人の心は人の心で動くことを実感しました。

## コミュカフェ



流しぞうめん で多世代交流

### 【団体概要】

代表：貝發 明里  
(福祉貢献学部3年)  
メンバー数：8名

### 福祉施設からはじまる まちづくり

#### 【目的】

福祉施設に対する閉鎖的なイメージを払拭し、地域住民の方々に、福祉施設をもっと身近な場所に感じていただくこと。

長久手市にあるデイサービスセンター「やさしいところ」の食堂をお借りして、1カ月に1度カフェを開き、地域の方々に施設を開放しました。また、その空間に高齢者、学生、地域住民という様々な年齢層が集うことで、多世代交流の場を作りました。様々な世代の方々とお話をする機会、経験を経て、コミュニケーション力が磨かれたと思います。また、コミュカフェをきっかけとして初めて施設のことを知ってくださった方も、今年度の活動で増加しました。

## こめ☆こめくらぶ



自然×人×食が交差する活動から学んだことを発信します!

### 【団体概要】

代表：藤本 涼子  
(交流文化学部2年)  
メンバー数：11名

### 子ども達に 優しい食を

#### 【目的】

有機農法で稲作を行い、自分の食べる物が自分の体を作っているということを子どもたちに伝えること。

長久手市内にある田んぼをお借りして、稲作を行いました。長久手市まちづくりセンターと長久手環境見本市でワークショップを行い、体験から学んだことを発信しました。私たちの活動が地域の人や自然、文化を結びつけるものであると再認識することが出来ました。今後「食べる」ことを考え続けること、作り手の想いに近づききっかけ作りを続けていき、私たちの活動をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思います。

## 地域密着会



点字で名刺づくり

### 【団体概要】

代表：野村 幸加  
(福祉貢献学部2年)  
メンバー数：21名

### 地域密着 プロジェクト

#### 【目的】

地域の方々に福祉を身近に感じてもらうための機会の提供を行うこと。

日進市チャレンジド夏祭りでは、障がいの有無に関係なく楽しめることをテーマとしたブースを企画し、実施しました。そこでは、車イスを利用している方にも楽しんでいただけた上に、小さな子どもとその親が遊びを通してコミュニケーションをとることのできる場を提供することができました。また、あさひのふれあいまつりや長久手福祉まつりでは、点字や視覚障がいについて体感的に理解していただく場の提供を行いました。ただ楽しんでもらうだけではなく、障がいの有無に関係なく遊べるブース、福祉に興味を持ってもらうための体験ブースというように、イベントによってテーマがあるので、その中でいかに地域の方々に興味を持ってもらえるブースにするかを考えることが大変でした。

## 天のひつじ



植物図鑑の時間

### 【団体概要】

代表：岡 弓絵  
(メディアプロデュース学部3年)  
メンバー数：21名

## つくろう! オリジナル植物図鑑!

### 【目的】

植物図鑑の作成を通して、子どもが自然と触れ合う機会をつくる。植物の名前を調べたり、実際に触れたりすることで、子どもに「発見する」ことや、「調べる」ことの楽しさを伝えること。

昨年度に引き続き、名古屋市千種児童館で活動を行いました。植物クイズでは、よく植物の名前を知っている子どもや、「この植物知ってる!」と生えている場所や特徴を教えてくれた子どももいました。また、図鑑作成では、同じ植物でも子どもによってスケッチに使うペンの色や感想(植物の大きさ、においなど)に違いがあり、それぞれの着眼点の違いに驚きました。子どもたちとの会話の中で、私たちが自然と触れ合うことの楽しさを改めて感じる事ができました。

## ヘルパーサークル あじゅあす



クリスマス会で、子ども達に願い事を書いてもらってます!

### 【団体概要】

代表：都築 康成  
(福祉貢献学部3年)  
メンバー数：70名

## あじゅあすの 福祉貢献活動

### 【目的】

地域の障がいのある子どもたちに行事を通していろいろな楽しみを知ってもらうこと。また地域の施設に入所されている障がい者の方と学生との関わりをもって日常生活の中で楽しんでもらうこと。

今年度は、昨年度に続き、社会福祉法人 ポレポレでの夏祭りの企画・参加や、社会福祉法人 森孝しぜんかんでのボランティア、名古屋市青年教室でのボランティアを通し、障がい者の方たちと交流しました。定期的にボランティアに行くことで、利用者の方に顔を覚えて頂くことができ、一回一回のボランティアがよりよいものになりました。自分たちが考えた企画をボランティア先の利用者の方が喜んでくれ、職員の方からも感謝の言葉をもらえた時が嬉しかったです。

## ASU element project



私たちが外国語活動の懸け橋になります!

### 【団体概要】

代表：谷川 由香  
(文学部3年)  
メンバー数：58名

## 小学校外国語(英語) 活動サポート

### 【目的】

外国語活動が必修化された今、児童らに異文化を学ぶことの大切さや楽しさを知ってもらうために、私たち英文学科生の専門分野を活かし、地域に貢献すること。

大学の空き時間や長期休暇を利用して、大学周辺の小学校に赴き、小学校で行われている外国語活動に参加し、ALTの授業を円滑にするため、ALTと児童の間に入り、サポートします。児童が困っている顔をしていたら近くに寄り、「こういうことをしているんだよ。」と教えてあげたり、机間巡視をして児童が授業を理解しているかチェックしたり、集中していない子にはこちらから注意を促したりしています。児童が休み時間も、習った英語の単語や文章を使って話しかけてきてくれ、児童らにとって英語がきちんと身につけていることを実感しました。

## Fsus4 (サスフォー)



地域の皆さんとEnjoy Music!

### みんなで Enjoy Music!

#### 【目的】

音楽を通して多くの方と触れ合うことで、人と人の輪を広げ、地域の活性化を目指す。音楽が好きな方・苦手な方に関係なく楽しんでもらう時間を作りあげること。

一緒に歌をうたう・リズム遊び等、皆で一緒に演奏することで、一体感が生まれ、距離が近くなり、参加している方同士のよりよいコミュニケーションにつながったと思われます。

さらに今年度は他の団体と様々なコラボをしたことで、普段できないことに挑戦でき、音楽との組み合わせに新たな可能性を見出すことができました。

#### 【団体概要】

代表：中島 輝子  
(コミュニケーション学部 4年)  
メンバー数：11名

## Messenger



星ヶ丘小学校から、福島第四小学校のみんなへ

### Sending Message 本を届けて友達になろう!

#### 【目的】

年齢の近い子ども同士が本を通じて交流できること。

名古屋市立星ヶ丘小学校の子どもたちに、自分のお気に入りの本を紹介してもらい、紹介メッセージとして、オリジナルのカバーや帯などを作ってもらいました。集めた本を福島第四小学校の子どもたちに届け、読んでもらいました。後日、福島の子供たちから届いた感想には、「この本を読んで面白かった。」「他の子にも紹介したい。」という言葉がたくさんありました。

近年、子ども達の本離れがささやかれていますが、実際に子ども達と交流してみるとそうでもないことが分かりました。またこの様な活動を通すことにより、さらに本とふれ合える機会が増えることが分かったので、今後も続けていきたいです。

#### 【団体概要】

代表：藤田 華奈江  
(ビジネス学部 3年)  
メンバー数：4名

## Re:textbooks



使い終わった教科書で学習支援

### 教科書 リサイクル

#### 【目的】

発展途上国の子供たちの学習を支援すること。

学生から使用しなくなった教科書を回収、販売することで得た利益を発展途上国の子供たちの学習支援として寄付しました。

学生に教科書回収の呼びかけを行い、私たちの活動を知ってもらうことで、途上国の学習環境について少しでも知ってもらうことができたのではないかと思います。今後の展望として前期・後期と教科書回収を定期的に行い、多くの人々に活動に参加してもらうこと、また、機会があれば実際に現地へ行きたいです。

#### 【団体概要】

代表：西山 典佑  
(ビジネス学部 2年)  
メンバー数：8名

## 4. 2012 年度 活動実績

# 2012 CCC Calendar

2012 年度、CCCでの主な活動の一部を以下の通り報告します。

-  ...連携事業・活動参加
-  ...CCC企画
-  ...学生企画

### 4月

-  東邦ガス(株)環境イベント  
「地球のチカラアカデミー」
-  スペシャルオリンピックス日本・愛知  
「サッカーイベント」
-  名古屋 YMCA 「めぐり合い交流会～ふるさと花見会～」
-  名古屋市名東児童館「おやつクッキング」
-  CCCガイダンス（新入生・在学生向け）
-  チャレンジファンド募集開始
-  「コラボ通信 30号」発行
-  新入生向けCCC紹介冊子「CCC劇場」発行
-  ボランティア活動報告会（環境 NPO 長期インターンシップ）



### 5月

-  東谷山フルーツパーク  
「トロピカルフルーツフェア」
-  堀川フラワーフェスティバル「愛知淑徳 Day」
-  名古屋市農業センター「こどもの日」体験ひろば
-  (株)デンソー「DECO ウォーク愛知池」
-  介助犬フェスタ 2012
-  名古屋国際フィリピンフェスティバル 2012
-  CCC環境サロン①「愛知県の環境」
-  ボランティア活動報告会（JICA 地球案内人ボランティア、ウガンダボランティア体験、キャンプカウンセラー）



### 6月

-  東邦ガス(株)「地球のチカラアカデミー」
-  星ヶ丘小学校環境教育活動サポート  
「生き物大好き」
-  名古屋市職員の方とゴミ分別の共同巡回活動
-  名古屋市千種児童館「こどものまち」
-  チャレンジファンド 公開コンペ/団体確定  
「コラボ通信 31号」発行
-  ボランティア活動報告会（NGO での国際協力活動、海岸清掃活動、東日本大震災支援）



### 7月

-  日進市受託事業  
「パパ応援講座・ペットボトルロケット」
-  (株)デンソー ハートフルまつり
-  名古屋市障害者スポーツセンター「納涼祭ブース出展」
-  ディスカバリーチャンネル「夏休み自由研究大賞」
-  中日新聞「地球未来子ども塾サポーター」
-  Nexpo（長久手・万博継承会）「リニモクリーン」
-  「アクティブ・ラーニング 2011」発刊
-  ボランティア活動報告会（キャンプカウンセラー、地域活性化・まちづくり活動）

### 8月

-  東邦ガス(株) 夏休み特別企画
-  名古屋国際センター「夏休み子ども日本語教室」
-  各団体主催「子どもキャンプ」
-  日進市社会福祉協議会「日進市チャレンジド夏祭り」
-  名東区社会福祉協議会「ふれあい交流会」
-  エコフェスタ名東
-  「コラボ通信 32号」発行
-  日進市夏休み等対策助成金事業「竹の水鉄砲で遊ぼう！」



### 9月

-  アジア保健研修所（AHI）「おでかけボランティア」
-  名古屋商工会議所「NAGOYA UNDOUKA1」
-  なごやマスターズデイ  
「夢いっぱいの特等席 福祉コンサート」
-  「JICAに行こう！ツアー」第3弾

-  東邦ガス(株)「地球のチカラアカデミー」
-  国際子ども学校運動会
-  東谷山フルーツパーク「秋のフルーツフェア工作ブース」
-  刈谷市国際交流協会「ナマステインディア」
-  (株)デンソー「デンソーハートフルデー」
-  ワールドコラボフェスタ
-  チャレンジファンド「中間交流会」
-  「コラボ通信 33号」発行
-  活動報告会(長期実践型インターンシップ)

10月



-  「リポビタンD」CM制作
-  長者町蚤びす祭り
-  NPO 法人フィール・ザ・ワールド「リニモでワールドラリー」
-  名東区社会福祉協議会「めいとうボランティア展」
-  名古屋市教育委員会「NAGOYA スポーツ☆ミックス 2012」
-  長久手市「ながくてしみんまつり」
-  CCC環境サロン②「長野県の世界」
-  活動報告会(外国籍児童の放課後サポート)

11月

-  「愛知県 新しい公共フォーラム」事例報告
-  各児童館「もちつき大会」
-  NPO 法人子ども&まちネット「チャレンジタウンNKL」
-  愛知なごや雪まつり

1月

-  東邦ガス(株)「地球のチカラアカデミー」
-  日進市受託事業「子ども国際理解教室」
-  名古屋市受託事業「クリスマス会」
-  名古屋市障害者スポーツセンター「クリスマス会ブース出展」
-  名古屋市内各児童館・各団体主催「クリスマス会」
-  長久手市市が洞地区「クリーン活動」
-  チェルノブイリ救援・中部「クリスマスカード」
-  CCC環境サロン③「世界の環境」
-  「コラボ通信 34号」発行
-  活動報告会(小中学校での学習サポート、東日本大震災支援)

12月



-  東邦ガス(株)「地球のチカラアカデミー」
-  日進市受託事業「パパ応援講座」
-  日進市受託事業「子ども国際理解教室」
-  岐阜経済大学フォーラム事例報告
-  国際ボランティア学会
-  名古屋市名東区「世界と知り合う☆喫茶めいとう」
-  東谷山フルーツパーク「バレンタインお菓子教室」  
「バレンタイン温室装飾」
-  名古屋市名東区「めいとう福祉まつり 2013」
-  長久手南部浄化センター「植樹祭」
-  CCC環境サロン④「樹塚味噌蔵」
-  「コラボ通信 35号」発行
-  長久手防災活動「Do Nabe Net NAGAKUTE」

2月



-  瀬戸信用金庫「すみれの贈呈式」  
レクリエーション
-  日本ボランティアコーディネーター研究集会 2013
-  マラソンフェスティバル「ナゴヤ・愛知 2013」ボランティア
-  「かりや3.11を忘れない～キャンドルナイト 2013 冬～」
-  「アースデイいわき in なごや 2013 ～愛知 meets 福島～」
-  じゃんぐるじむ「カレーづくり」
-  チャレンジファンド活動報告会
-  児童館での自主企画「姉妹友好都市を知ろう！」

3月

-  名古屋市内児童館イベントサポート、  
小中学校での授業サポート、  
日本語教室、高齢者外出サポート、など
-  「ボランティア情報」発行(毎月2号)
-  手話DEランチ

通年



身近な「なごや・あいちの環境問題」から「地球規模の環境問題」を学ぶことで、自分の生活の見直しや環境活動への一歩を踏み出すきっかけとする「CCC環境サロン」。環境に関して「気づき」を「より深く、より広く」学ぶことで持続可能な地球社会を自分達がどう創ってイけるかをみんなで考えました。

### 1 「あいちの今! 愛知県の環境って、どうなっているの?」

【開催日】  
2012年5月30日(水) 17:00~18:30

【講師】  
愛知県環境課 澤田 和孝 氏  
モリビトの会 神野 悦夫 氏

【発表団体】  
エコのつぼみ  
こめ☆こめくらぶ

【司会・進行】  
塩崎 未来 さん  
(交流文化学部3年)



### 2 「Mottainai! 長野県の規格外野菜がスイーツへと変身!」

【開催日】  
2012年11月22日(木) 17:00~18:30

【講師】  
長野県職員 古島 洋一 氏  
かたつむりの会 木下 昭則 氏

【発表団体】  
Vege GaGa

【司会・進行】  
三池 柚菜 さん  
(ビジネス学部4年)



### 3 「世界の環境ってどうなっているの?」

【開催日】  
2012年12月8日(土) 10:00~12:00

【講師】  
NIC(名古屋国際センター)外国人講師  
池田 チンツィア 氏 (イタリア)  
李 統 旻 氏 (中国)  
愛知淑徳大学留学生 朴 根樑 さん (韓国)  
楊 雅薇 さん (中国)

【司会・進行】  
臼井 早紀 さん  
(交流文化学部3年)



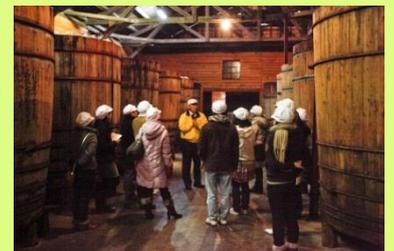
### 4 「The 榎塚味噌」

【開催日】  
2013年2月13日(水) 10:00~14:00

【開催場所】  
蔵元 榎塚味噌 (豊田市)

【講師】  
合資会社 野田味噌商店 社長 野田 清衛 氏

【司会・進行】  
藤本 涼子 さん  
(交流文化学部2年)



#### 企画学生の声

交流文化学部2年 藤本 涼子さん

味噌から広がる世界、この大きさと深さにびっくりさせられた見学ツアーとなりました。参加した学生の中には、味噌から自然を感じた子や普段の生活を感じた子、世界を感じる子などがいて、見学ツアーに参加した後のどの学生の言葉にも、心に落ちたという重みがありました。それは、私たちにとって「そうだな」と共感できる野田社長の素敵な言葉が、沢山あったからだと思います。大切にしたいと思うことは、常に自分の心に意識していても、忘れてしまうことがあります。それをふと思い出させてくれるのが、私たちが普段口にしている味噌などの食べものなのではないかなと感じました。食べるって本当に幸せなことですね!

## ・共催事業

### 国際ボランティア学会第 14 回プログラム「なごや、大好き！ だから、考えよう。」

日本を代表する NGO 実践者の方々や、愛知県知事の大村秀章さん、名古屋市長の河村たかしさんをお招きしながら、東海地震に負けない地域づくりや新しい寄付文化づくりについて考えるシンポジウム「なごや、大好き！ だから、考えよう。」が開催されました。



日時：2013 年 2 月 16 日（土）  
 会場：愛知淑徳大学 星が丘キャンパス  
 主催：国際ボランティア学会第 14 回大会実行委員会  
 共催：愛知淑徳大学 コミュニティ・コラボレーションセンター

### 全国ボランティアコーディネーター研究集会 2013 あいち・なごや

日本各地からボランティアコーディネーターが集い、「ちがいを強みに変えるコーディネーション力」をテーマに、「ボランティアコーディネーター研究集会」が開催されました。



開催日：2013 年 3 月 2 日（土）・3 日（日）  
 会場：愛知淑徳大学 星が丘キャンパス  
 主催：全国ボランティアコーディネーター研究集会 2013 あいち・なごや実行委員会  
 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）  
 共催：愛知淑徳大学

## ・利用状況

（2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日までの総計数）

- C C C 登録者数…1,827 人（本学学生の約 21%）  
 C C C から配信されるボランティア情報の取得、活動に参加するための登録
- C C C 利用者数…12,005 人  
 情報取得、活動報告会・ランチタイム企画参加、  
 活動の相談・ミーティングなどで来室する学生の延べ人数



C C C では定期的にボランティア情報を発行しています。青少年育成、環境活動、国際交流、福祉貢献等の分野の活動を紹介し、学生がそれぞれに興味・関心のある活動に参加できるようになっています。2012 年度はメール配信を含め、計 22 号のボランティア情報を発行しました。



お昼ご飯を食べながら、気軽にお話を聞いたり、様々な交流ができる C C C ランチタイム企画を実施しています。ボランティア活動に参加した学生が、活動の魅力や活動を通して得た気づきを他の学生に伝えるボランティア活動報告会など、学生同士が共に学び、考える場づくりのランチタイムとなっています。

## ・学生スタッフの活動

CCCは、大学にあるさまざまな想いをもち多くの学生が集まる場所となっています。CCC学生スタッフは、同じ学生という目線から、学生の想いをかたちにする重要な役割を担っています。ひとりひとりの個性を活かし、新たなチカラを共に発見するお手伝いもしています。

また、学生スタッフとしてCCCを紹介するだけでなく、自ら企画なども行い、自分たちの活動の幅を広げています。

### 長久手



[前列右より]

羽田野 有紀 (健康医療科学部 3年)  
早川 愛弓 (文学部 4年)  
三輪 恵理 (メディアコミュニケーション学部 3年)

[後列右より]

宇井 千佳子 (医療福祉学部 4年)  
高木 祐太 (健康医療科学部 3年)  
三島 里紗子 (文学部 3年)  
上田 愛実 (医療福祉学部 4年)

### 【活動内容】

#### 《日々の活動》

- ◇学生対応  
(CCC利用学生に対し、ボランティア情報などの提供)
- ◇「コラボ通信」、ポスターなどの作成
- ◇企画立案、実施、報告 (ホームページ)
- ◇書類、チラシ、写真管理
- ◇最新トピックス等の紹介
- ◇CCC学生スタッフミーティング
- ◇掲示板レイアウト

#### 《年間を通じた活動》(2012年度)

- ◎CCCを紹介する  
新入生ガイダンスなど
- ◎CCC事業サポートする  
チャレンジファンド交流会のコーディネーター、  
「手話DEランチ」サポート
- ◎スキルアップを図る  
学生スタッフ合宿、  
活動振り返り会ミーティング
- 他にも…
- ◎自ら企画する
  - ・デンソー「ハートフルまつり」ブース出展
  - ・DoNabe Net Nagakute～はじめましての会～
  - ・「長久手環境見本市」ブース出展  
など

### 星が丘



[前列右より]

藤本 涼子 (交流文化学部 2年)  
永草 修司 (交流文化学部 3年)  
臼井 早紀 (交流文化学部 3年)  
森 裕子 (ビジネス学部 2年)

[後列右より]

村井 雄美 (ビジネス学部 4年)  
塩崎 未来 (交流文化学部 3年)  
加藤 エリカ (交流文化学部 3年)  
中川 由有 (ビジネス学部 3年)

### 学生の声

ビジネス学部 4年 村井 雄美さん

私は3年生のときからCCCの学生スタッフとして活動してきました。CCCでの活動で大学生活は素敵なものになりました。学生スタッフになったときは、自分も分からないことが多いのに学生に説明できるか不安で、ボランティアの話よりも世間話をしているほうが多かったように感じます。しかし、その世間話の中から、何に興味があるのかを掴み取ることが大切だと感じました。実際にボランティアをやってみてよかった！という言葉がとても嬉しかったです。

また、活動報告会や他の学生の活動の話を聴き、刺激されることが多く向上心をもって取り組むことができました。学生スタッフとして活動を始めてから人の関わりが広くなり、視野が広がりました。人との繋がりがどれだけ大切かわかったのもこのときです。

ボランティア活動で様々な貴重な経験をしました。引込み思案などと言ってられない環境に飛び込むことで、ここまで世界が変わると思いませんでした。尊敬する方々、素敵な方々、全ての人に感謝です。社会に出ても視野を広く持ち、何事にも飛び込んで行きたいです。私が素敵だと感じた方々のように少しでも近づけるよう頑張ります。そして尊敬できる方々に出会えた事を幸せに感じます。

#### 《今後のCCCへ》

社会人になって思うことがあります。学生スタッフはとても恵まれた環境にいるということ！CCCにいただけでもたくさんの方が来てくれて、貴重な経験話や素敵な夢をもった方々のお話。様々な人と会うことで、刺激をもらったり、新たな自分に出会えるのも楽しみの1つでした。一歩踏み出せば一気にフィールドが広がり、そのフィールドから新たなものが生まれたり!!キラキラしたたくさんの可能性を秘めている環境がどんなに恵まれていたのか今になり実感しています。

CCCは陽だまりの中素敵な笑顔でキラキラしているイメージです。CCCには笑顔がいっぱい!!ここでパワーをもらっている学生も多いと思います。そして私もその1人でした!いいところはそのまま、興味をもったことに積極的に挑戦して行ってほしいです!!そして1人でも多くの学生が利用してくれたらと思います。

私は学生スタッフとして活動できた事を誇りに思います!!これからもいっぱい笑って前進して行ってください!



・ニュースレター「コラボ通信」

CCCでの取り組みを詳しく広報するニュースレター「コラボ通信」を定期的に発行しています。2012年度は、表紙と最終ページを学生スタッフが担当し、親しみやすい内容となっています。



・運営委員・職員一覧

2012年度CCC運営委員

- 委員長 **ブイ チトルン** (交流文化学部 教授)
- 委員 **石坂 綾子** (ビジネス学部 教授)
- 小川 明子** (メディアプロデュース学部 准教授)
- 樗木 勇作** (文学部 教授)
- 黒川 文子** (コミュニティ・コラボレーションセンター 講師)
- 五島 幸一** (メディアプロデュース学部 教授)
- 小島 祥美** (文学部 准教授)
- 篠原 郁子** (心理学部 講師)
- 谷口 純世** (福祉貢献学部 准教授)
- 日置 陽子** (コミュニティ・コラボレーションセンター 助教)
- 吉田 敬** (健康医療科学部 准教授)
- 若松 孝司** (交流文化学部 教授)
- 小田橋 恵子** (コミュニティ・コラボレーションセンター 事務室長)

2012年度CCC職員

- 長久手キャンパス
- 秋田 有加里**
- 宮城島 泰子**
- 落合 奈央**
- 多田 羅 順子**
- 星が丘キャンパス
- 早川 智子**
- 福原 春菜**
- 安田 なぎ子**

**2012年度CCC活動報告書**

発行日：2013年5月末日

発行：愛知淑徳大学

コミュニティ・コラボレーションセンター

【お問い合わせ】

URL: <http://www.aasa.ac.jp/institution/ccc/>

E-mail: [asccc@asu.aasa.ac.jp](mailto:asccc@asu.aasa.ac.jp)



 **愛知淑徳大学**  
コミュニティ・コラボレーションセンター

長久手キャンパス  
〒480-1197  
愛知県長久手市片平 9  
TEL: 0561-62-4111(代)

星が丘キャンパス  
〒464-8671  
愛知県名古屋市千種区桜が丘 23  
TEL: 052-781-1151(代)